

令和8年度 九州沖縄農業試験研究推進会議 畜産・草地推進部会
畜産環境研究会 開催要領

畜産・草地推進部会長
農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域
桂 真昭

1. 趣旨：近年、化学肥料価格の高騰や環境負荷低減への要請を背景として、家畜排せつ物の適切な処理と資源循環利用の重要性が高まっている。家畜ふん尿や畜産排水を単なる廃棄物としてではなく、肥料やエネルギー資源として有効活用することは、持続可能な畜産経営および循環型農業の実現に向けた重要な対応策の一つである。本研究会では、養豚排水処理施設におけるアナモックス菌の活用や曝気制御による処理の高度化・省エネルギー化、酪農スラリーおよび消化液の浄化処理技術、さらにメタン発酵による畜産廃棄物の資源化やバイオガス発電の取組について紹介する。また、熊本市内に新たに整備されたバイオガスプラントの見学を通じて、資源の循環利用と脱炭素社会の実現に向けた理解を深めることを目的とする。

2. 主催 農研機構九州沖縄農業研究センター

3. 開催日時 令和8年9月14日（月）13：30～9月15日（火）12：00

4. 開催場所（対面）（1）研究会・設計検討会 9月14日（月）13：30～17：15
〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421
九州沖縄農業研究センター 第2会議室（1F）
（2）施設見学会 9月15日（火）9：30～12：00
〒860-0044 熊本市西区谷尾崎町 378-1 (32.79, 130.67)
エヌエナジー株式会社 熊本西部バイオガス発電所

5. 議事内容

第1日目 研究会・設計検討会（9月14日13：30～16：20）

（1）研究会：畜ふん尿のメタン発酵および畜産排水処理

1) 養豚排水処理施設で見られるアナモックス菌について（仮題） (30分)

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 上級研究員 和木 美代子

2) アナモックス菌が自生する養豚排水処理施設における曝気制御の効果（仮題） (30分)

静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター 資源循環科 上席研究員 石本 史子

3) 酪農スラリーおよびメタン発酵消化液の浄化処理技術と規模拡大への活用 (30分)

（株）戸上電機製作所 システムエンジニアリング部 石田 稔

4) メタン発酵を活用した畜産廃棄物の処理・資源化（仮題） (30分)

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 主任研究員 アンディア フェトラ

5) 脱炭素社会に向けた新しいエネルギー「バイオガス発電」 (30分)

エヌエナジー株式会社 新事業推進部 企画開発担当課長 井上 雅弘

6) 総合討議 (20分)

（2）設計検討会 (16:20 ～ 17:00 40分)

1) 畜産環境関係の研究課題の検討

（①今後の新規課題, ②今年度新規課題, ③継続課題, ④成果情報候補課題）

2) 試験推進上の問題点、共同研究等に関する討議、その他（推進会議、研究会の進め方等）

第2日目 施設見学会（9月15日 9：30～12：00）

熊本西部バイオガス発電所（エヌエナジー株式会社）

6. 参集範囲 九州農政局、沖縄総合事務局、九州・沖縄各県の試験研究機関、行政機関、普及機関、家畜改良センター、大学、独立行政法人研究機関、その他部会長が認める者

7. 連絡先（事務局）

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 畜産環境グループ アンディア フェトラ

TEL：096-242-7625 e-mail: qtikukan@ml.affrc.go.jp

8. 資料の作成、提出および出席申し込み

別途「事務連絡」にてお知らせいたします。